

栃木県のがん 2016 (平成28年) 【概要版】

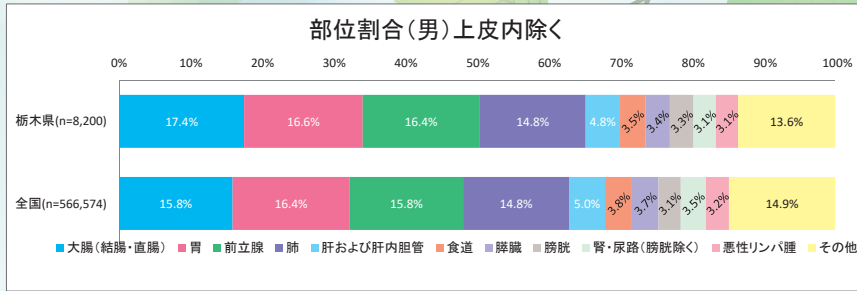
(栃木県がん実態調査報告)

全国がん登録とは

全国がん登録は、がんの罹患、治療、転帰等の状況を把握・分析することにより、科学的知見に基づくがん対策と情報提供の充実を図り、もってがん医療の質の向上及びがん予防の推進に資することを目的とする。対象は、全ての病院及び指定された診療所から都道府県知事に届け出られた者及び市町村長から報告される死亡者情報票によって把握されたがんによる死亡者で、2016年1月1日～12月31日までに診断された症例である。

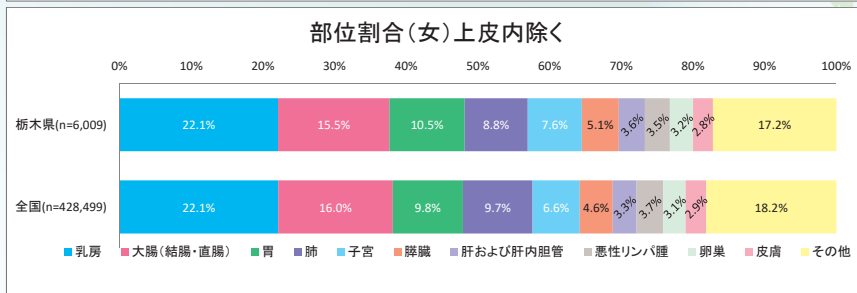
栃木県におけるがん罹患の概要

2016年に**栃木県**で新たに診断されたがんは14,209件(男性8,200件、女性6,009件)



栃木県で罹患数が多い部位

	1位	2位	3位	4位	5位
男	大腸	胃	前立腺	肺	肝臓
女	乳房	大腸	胃	肺	子宮

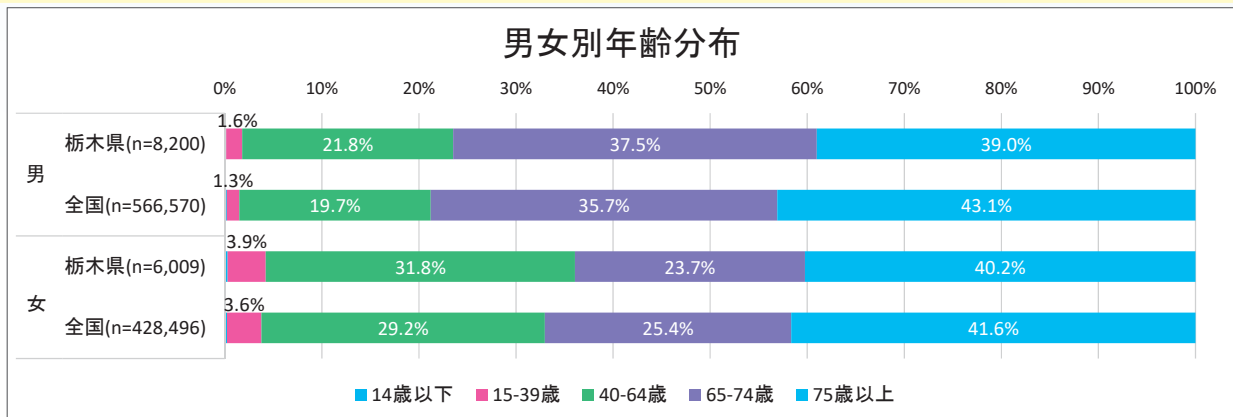


全国で罹患数が多い部位

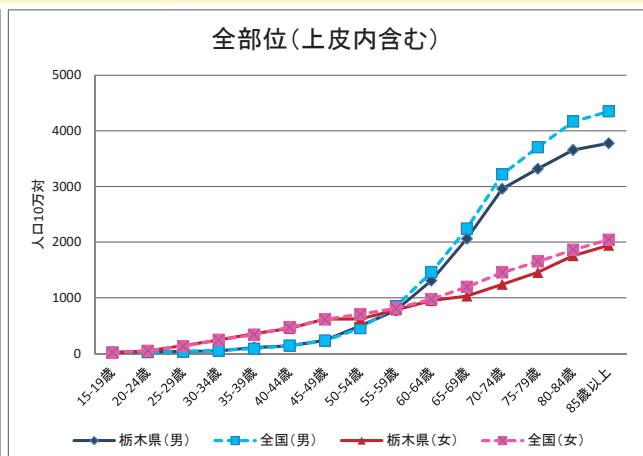
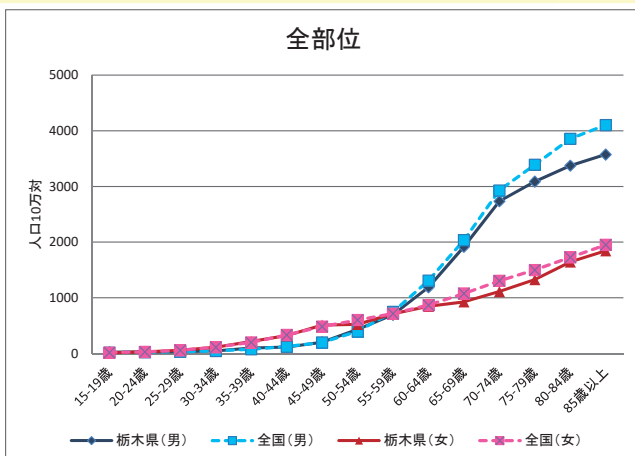
	1位	2位	3位	4位	5位
男	胃	前立腺	大腸	肺	肝臓
女	乳房	大腸	胃	肺	子宮

年齢別罹患

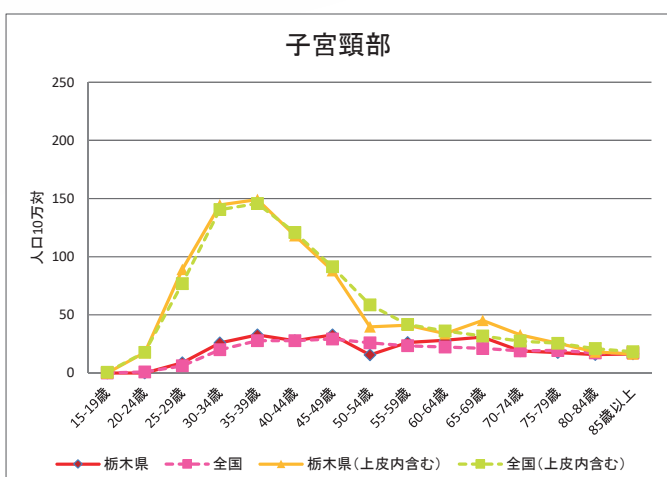
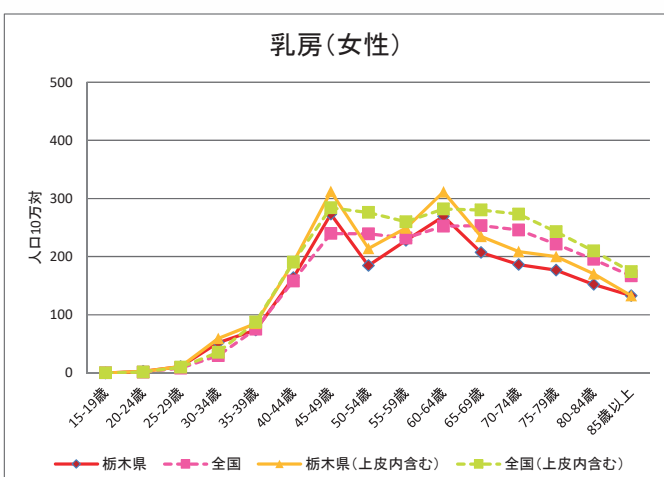
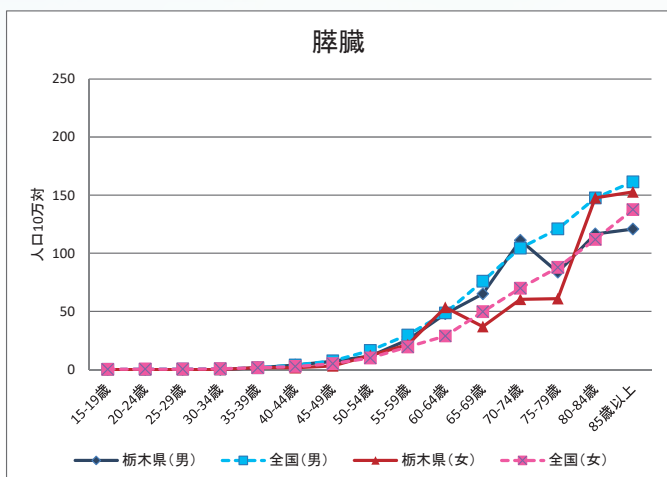
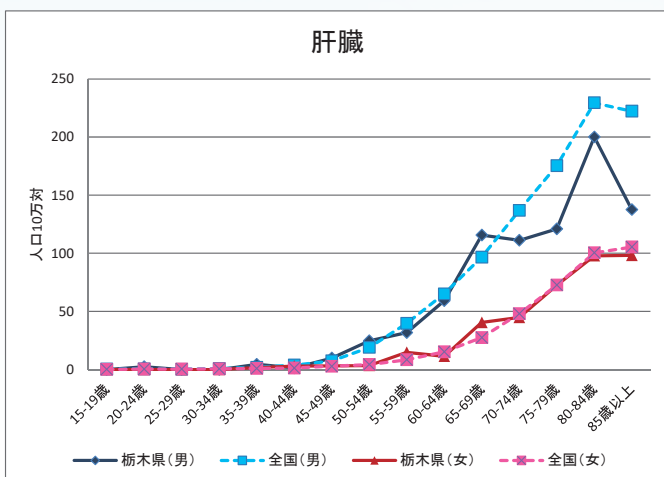
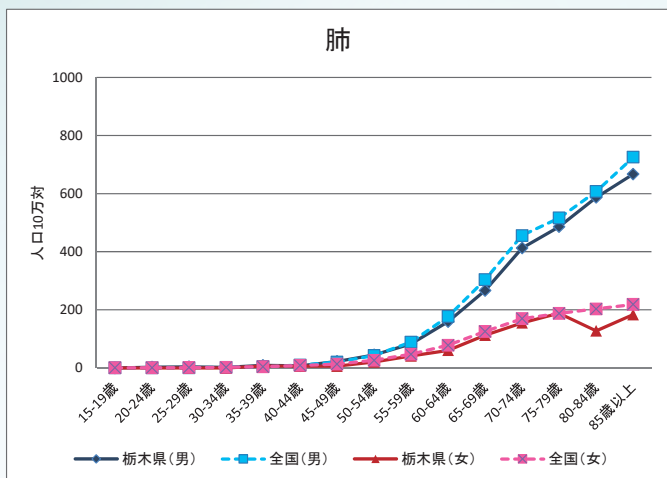
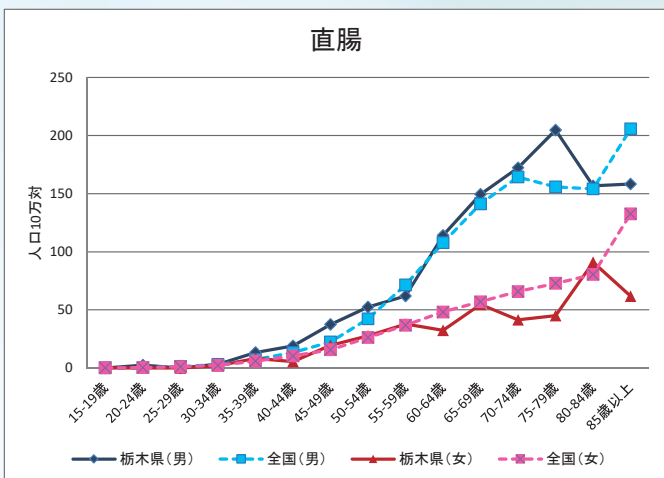
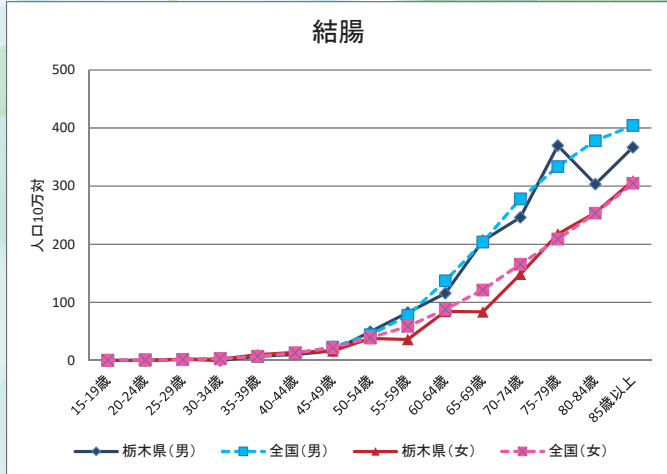
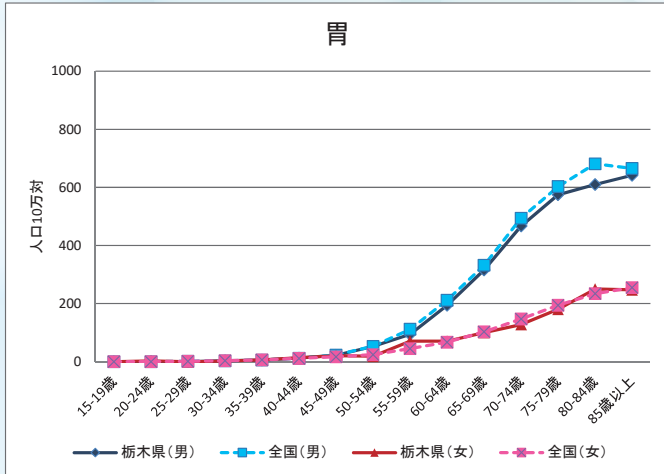
65歳以上の割合は男性76.5%、女性63.9%。栃木県の方が若い年齢の割合が高かった。



年齢階級別罹患率を全国と比較すると、全部位の男性では年齢階級が高くなるほど罹患率が低くなった。女性も低い傾向がみられた。

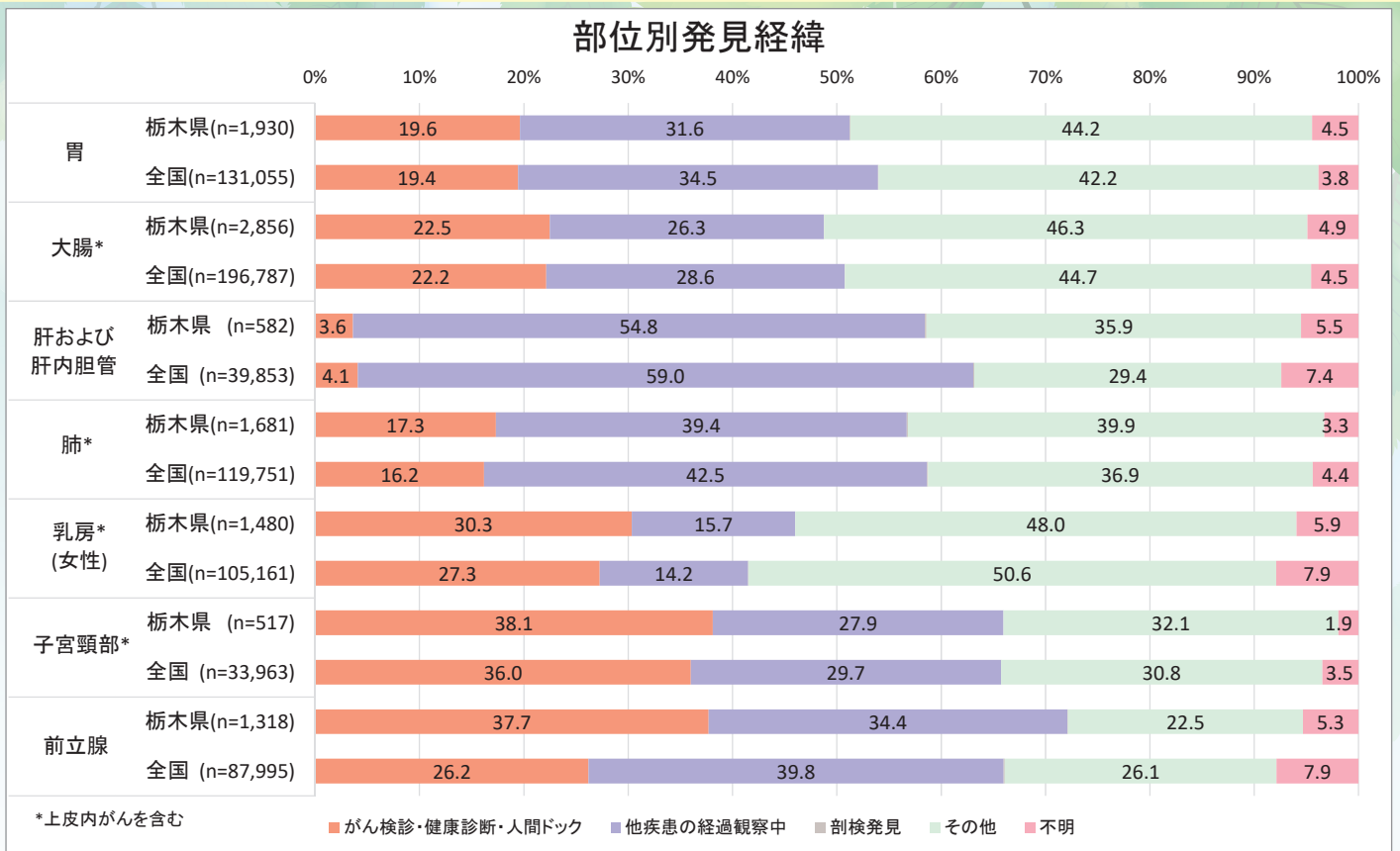


多くのがんは年齢が高くなるほど罹りやすい傾向があるが、女性の乳がん、子宮頸がんはより若い年齢でも罹患する。女性の乳房は65歳以上で全国より年齢階級別罹患率が低かった。



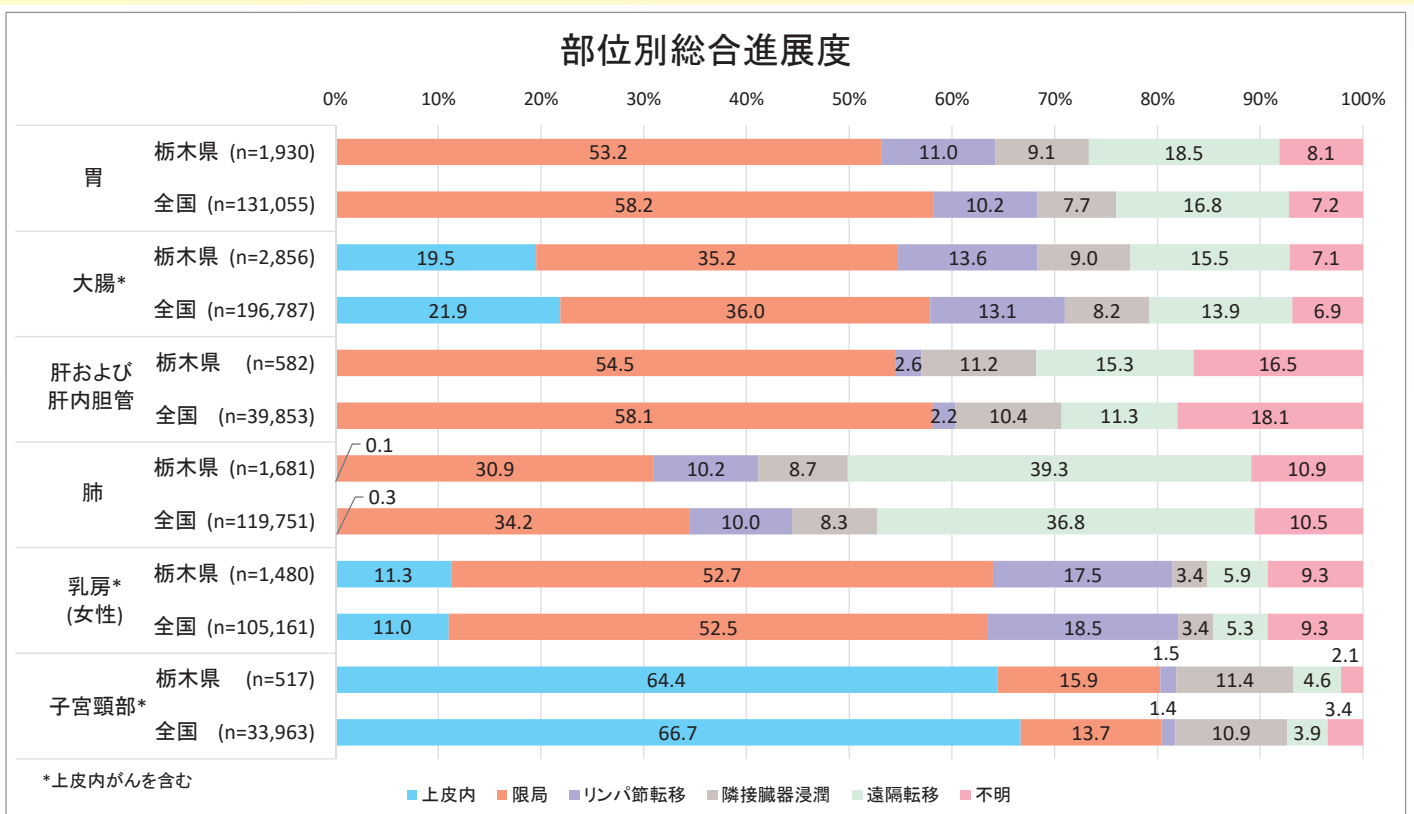
発見経緯

部位別発見経緯では、がん検診・健康診断・人間ドックによる検診等発見割合が、胃(19.6%)、大腸(22.5%)、肺(17.3%)、乳房(30.3%)、子宮頸部(38.1%)、前立腺(37.7%)であった。胃、大腸、肺の検診等発見割合は全国とほぼ同等であるが、乳房、子宮頸部、前立腺は検診等発見割合が全国より高かった。



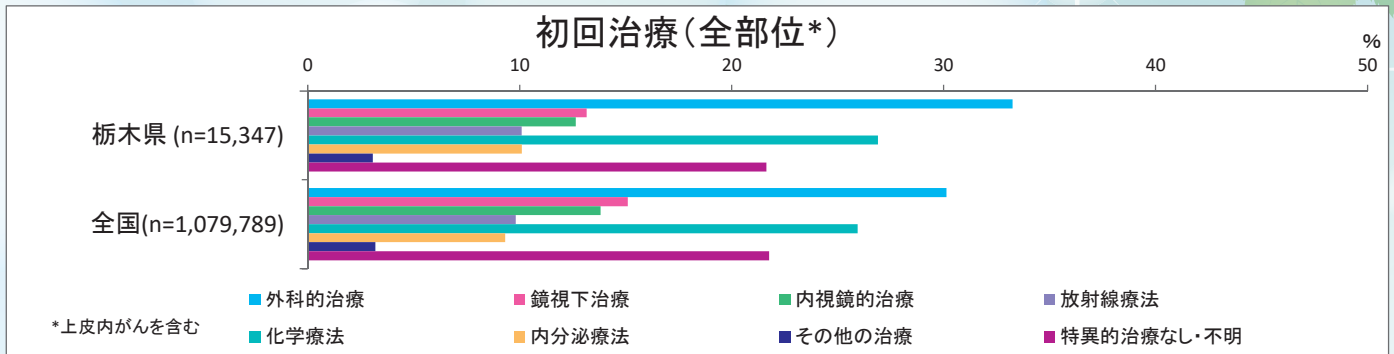
進展度

胃、大腸のように上皮内・限局が50~60%を占めるもの、子宮頸部、子宮体部、乳房、前立腺のように60%を超えるもの、反対に隣臓、胆のう・胆管、肺のように40%に満たないものがあった。乳房、子宮頸部、前立腺以外は全国と比較して上皮内・限局の占める割合が低かった。また、遠隔転移の占める割合が高い部位が多かった。



初回治療

全国と比べ、多くの部位で外科的治療の割合が高かった。初回治療は複数回答のため、集学的治療の場合においては、複数の治療法に集計されている。※集学的治療：主に手術、薬物療法、放射線治療などを組み合わせて行う治療。

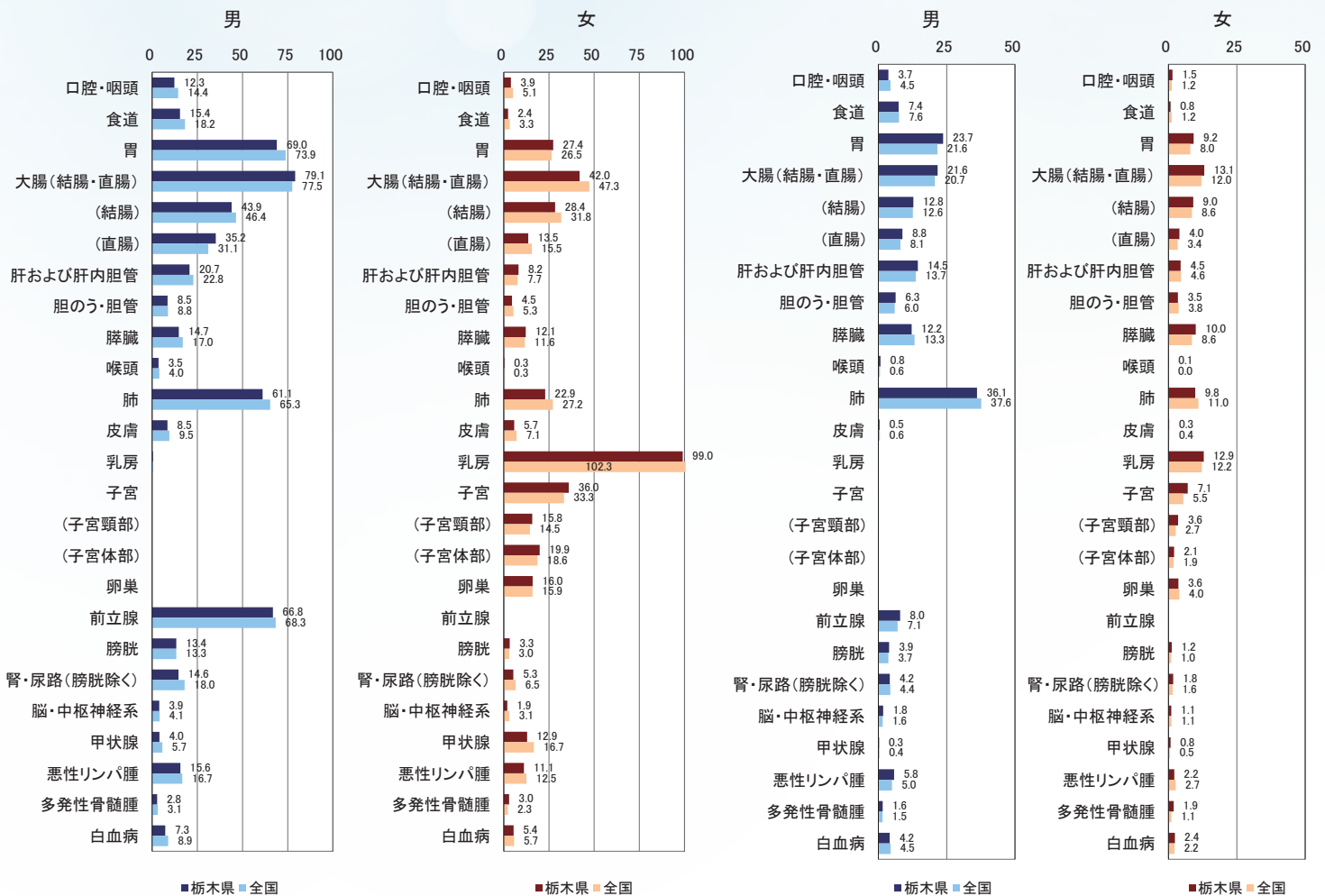


罹患率と死亡率の全国比較

年齢調整罹患率を全国と比較すると、男性の直腸、女性の子宮、胃で栃木県が高い傾向が見られるが、それ以外は同じかやや低かった。年齢調整死亡率を全国と比較すると、男性で胃、大腸、肝、前立腺、悪性リンパ腫が高く、女性では胃、大腸、膵、乳房、子宮が全国より高い傾向がみられた。

【年齢調整罹患率】

【年齢調整死亡率】



栃木県のがん 2016(平成28年)

(令和2年3月)

編集 地方独立行政法人栃木県立がんセンター

発行 栃木県保健福祉部 健康増進課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1-1-20